

## ■ブラジル：配電 6 社の民営化法案、連邦下院を通過

エネルギー情報サイトは 2018 年 7 月 5 日、ブラジル連邦下院議会において連邦電力エレクトロブラス傘下の 6 配電会社の民営化に関する法案が 7 月 4 日に承認されたことを伝えた。今後、上院議会での審議を経て、法制化される見込みである。入札は 7 月 26 日にサンパウロの B3 株式取引市場で開催されることが既に決まっており、エレクトロブラスが所有する北部 6 州の配電会社の株式 90%相当が売却対象となる。売却対象の配電 6 社の顧客数は合計 1,300 万軒、供給エリアはアマゾン流域を含む、面積 246 万 km<sup>2</sup>におよぶ広大な地域となる。エレクトロブラス傘下の民営化では、本件に先立って、2017 年にゴイアス州の配電会社 Celg-D がイタリアエネルギー大手エネル（現地法人 Enel Brasil）に資本移転されている。ただし、今回の 6 社は Celg-D と比べていずれも需要密度が低く、事業規模も小さいため、最終的にどのような企業が入札に参加するかその行方が注目されている。